

平成 28 年春のバス旅行

主催：都立目黒高校同窓会

～栗と北斎と花のまち「小布施」を楽しむ旅～

実施日：平成 28 年 5 月 18 日



天保年間、江戸日本橋白銀町で呉服商などを営む小布施出身の十八屋を介して、高井鴻山が浮世絵師 葛飾北斎と出会います。その数年後、鴻山は北斎を小布施へ招きました。北斎が初めて小布施を訪れたのは 83 歳の秋でした。以後 4 回小布施を訪れ、晩年の集大成である肉筆画に全力を注ぎこみました。

昭和 51 年、町内に遺されている北斎作品の散逸を防ぎ、収蔵・公開するための美術館として「北斎館」が建設されました。

小布施は総面積 19k m²、人口 1 万 2 千人の小さな町ですが、先人から受け継いだ風土や文化を大切にしながら住民の総意と工夫で潤いのある美しい町づくりをすすめています。

栗と北斎と花のまち「小布施」で心和むひと時をお過ごしください。

旅 程

① 渋谷クロスタワー出発 08：00 休憩：上信越自動車道 東部湯の丸 S

② 岩松院 11：30～12：15

本堂内の大間、21 畳の大きさの八方睨み鳳凰図の天井絵があります。江戸末期の嘉永元年（1848 年）北斎 89 歳の時の作品で、晩年最大の作品です。岩絵具は中国から輸入した辰砂・孔雀石などの鉱石を用い、その価は 150 両。金箔 4400 枚を使用したといわれています。色彩・光沢は少しも変化していません。

③ 昼食 竹風堂 12：30～13：30

明治 26 年創業以来、栗菓子作りに取り組んできた竹風堂さん。「栗は小布施栗をはじめ国内産にこだわり厳しく吟味、製品ごとの特性に合わせて自家仕込みをしています。もちろん人工着色料や食品添加物は一切なし。甘さについても、押えられるところはできるだけ押さえ、なるべく自然なおいしさを心がけています」とおいしさへのこだわりと自信が伺えます。不動の人気を誇る竹風堂の「栗おこわ」は、厳選した栗をたっぷりと混ぜ込んで炊きあげており、ホクホクな栗とふっくらもち米が絶妙な一品です。この「栗おこわ」にニジマスの甘露煮や山菜の煮物などを合わせた昼食をお楽しみください。

④ 小布施散策 自由行動 13：30～15：45

お食事の後は小布施のまちの散策です。見どころはたくさん、美術館を訪ねたり、お買い物を楽しんだり、造り酒屋を訪ねたり、ご自由にお楽しみください。北斎館、小布施ミュージアム中島千波館、高井鴻山記念館などの美術館めぐりはいかがでしょう。栗の小径、陣屋小径などの小径を歩いて小布施のまちを体感しましょう。小さなまちに造り酒屋が 4 軒もあり、試飲ができるところもありますよ。歩き疲れたらパティスリーロントや、味噌蔵を改造したカフェでお茶でもいかがですか。

⑤ 渋谷クロスタワー到着 20：00 予定 休憩：上信越自動車道 横川 SA